

2016年4月20日(水) 月刊ケア5月号 掲載

『散歩道』

経営企画課 三浦 剛 事務員



函館中央病院 (函館市)

経営企画課 三浦 剛 さん

病院広報とデータ分析を軸に、
地域で頼られる病院作りを目指す

経営企画課に所属する三浦さんは経営方針に関わる活動と病院の広報が業務の中心。広報活動では地元や道内のメディア等と連絡調整をしながら、病院の取り組みや最新の情報を地域住民に向けて紹介している。

「医療は心あつてのもの。単に情報を発信するだけではなく、職員の顔や人柄まで伝えられるよう心掛けています。病院は多くのスタッフと職種で構成される場でもあるので、医師はもちろんのこと、医師以外のスタッフの情報も発信

していきたい」と話す。

「職員の顔が見える」広報活動の延長として、市民公開講座も担当。何をいかに紹介すべきか、企画段階から熱心に関わっている。患者さんを大切に考える姿勢は、年1回実施している「患者満足度調査」や投書箱「患者さまの声」の取り組みからもうかがえる。投書は毎日回収し、改善内容を掲示するだけでなく、記名のある場合には直接本人に回答も行っている。

病院の改善活動に繋がる取り組みとして、今年10月には病院機能評価更新を控えており、事務局として病院の質向上や体制整備などに携わっている。

また、患者数や手術件数、在院日数など病院のあらゆるデータから、経営方針に反映されるよう分析・検討していくことも三浦さんの重要な役割。今年には診療報酬が改定された年だが、病院経営にプラスになる働きかけを行っていきたいと話す。

「3月26日に新幹線も開通して本州との交通の利便性も飛躍的に向上しました。そうした中、函館中央病院が北海道内はもちろんのこと、道外からも認められるよう取り組んでいきたいです」。